

急速に進む欧州における自転車利用環境整備

輪の国びわ湖推進協議会 藤本 芳一

<https://www.biwakol.jp/wanokuni>、fujimoto@seisai.com

はじめに

2022年5月から8月に欧州各地を実際に自転車で走り、自転車利用環境やサイクルツーリズムの視察を行った。本稿ではその中から自転車利用環境に関する事項についてまとめる。

1. 「15分シティ」を目指すパリ

今、自転車利用環境が一番大きく変わりつつあるのがパリである。2010年に第一次、2015年に第二次のパリ自転車計画を策定。2020年末時点で1093.7kmの自転車専用道が整備され、第二次計画で自転車分担率は5%から15%に増加した。

ルーヴル美術館やパリ市役所の横を通るリヴォリ通り3kmの区間では、元からあった1車線分の自転車道に加えて、車専用だった2車線が自転車道に転用、残る1車線はバス、タクシー、緊急車両専用になっている。



写真1 3分の2が自転車道になったリヴォリ通り
(右の建物はルーヴル美術館)

自動車専用だったセーヌ川河川敷も歩行者自転車専用になり、カフェなども出て、多くの人で賑わっていた。さらに、ルーヴル美術館の西隣のチュイルリー公園南側からセーヌ川沿いへ

出るための車用だったトンネルや、凱旋門を囲むロータリーをショートカットするトンネルも自転車専用転用されていた。



写真2 セーヌ川沿いに出るトンネル

2022年8月には、低所得者世帯対象に自転車購入費の40%の補助を出すことが発表された。

パリは、「誰もが車を使わず職場にも子供の学校にも、15分で行ける街=15分シティ」を目指しており、今も市内のあちこちで自転車道の工事が進められている。

2. 世界の自転車に優しい都市のトップを争うコペンハーゲン

デンマークの首都、コペンハーゲンでは市内の広い通りの両側に必ず車の1車線分ほどの幅の自転車道が整備され、歩道とも車道とも数センチの段差が付けられている。



写真3 コペンハーゲン市内の自転車道

この街では通勤・通学の交通の半分以上を自転車が占めている。

自転車の前に大きな箱が付き、荷物や子どもを載せられるカーゴバイク（写真 3・4 にも写っている）がよく使われており、子どもが 2 人以上いる家庭の 26% がカーゴバイクを持っている。このカーゴバイクは、現在欧州で、街中での物流をトラックから自転車に代えるための手段として利用促進が行われており、自転車利用の進んだ街では普通に見かけるものになっている。

コペンハーゲン市内には多くの水路があり、近年は車より自転車が早く移動できるように、水路をまたぐ自転車用の橋が次々と整備、ここ数十年で架けた橋はすべて自転車・歩行者用のことである。



写真 4 「スネーク」と呼ばれる自転車専用の橋

3. 世界一の自転車政策先進国オランダ

オランダでは、国全体で通勤・通学の交通のうち 3 割以上が自転車と言われている。首都のアムステルダム中心部では、交通の半分以上が自転車である。

写真 5 は、メインストリートのダムラック通り。かつては両側で 4 車線の車道だったのが今では、写真の左から、広い歩道、自転車道、トラム（路面電車）、一方通行 1 車線のみ車道、反対行きの自転車道、そして再び歩道と、まさに歩行者、自転車、公共交通が平等に分け合っている。



写真 5 アムステルダムのダムラック通り（正面の建物がアムステルダム中央駅）

この道だけが特殊なのではなく、アムステルダム市内ではこのような道が一般的である。車線は車の幅ギリギリしかなく車は時速 30km 程度でゆっくり走っており、人口 80 万人という街の規模の割に車は少ない。

オランダは近年駐輪場整備に力を入れており、4 番目に大きな街、ユトレヒトの中央駅前に 2019 年、12,500 台収容の世界最大の駐輪場が開設。特徴は 3 階建のどこのフロアにもスロープで自転車に乗ったままスピードを落とさずに入っていけることである。さらに 2022 年にはアムステルダム中央駅前の運河地下にも 11,000 台収容の駐輪場がオープンした。

おわりに

以上のように、欧州では CO₂ 排出量削減、安全で快適なまちづくりのために、車の車線を自転車道に転用することで、車から自転車・公共交通への転換を図っている。

日本でも車の領域を削減する施策にまで踏み込んでほしいと切に願う。

参考文献

- IDEAS FOR GOOD 「自転車インフラで『サステナブル交通賞』を受賞したパリに住んで感じる、市民主体のまちづくり」 2024 年 2 月 13 日閲覧
<https://ideasforgood.jp/2023/02/07/sta-paris/>
- 自転車活用推進研究会 2023 年度第 9 回自転車活用研究会「古倉宗治博士の欧州最前線レポート」プレゼン資料 2024 年 1 月 19 日